

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成17年度		根拠法令・例規等 三石財産区管理会条例 三石財産区基金条例
総合計画	大項目 基本目標	06	健全で自立したまちづくり	
	中項目 基本施策	01	簡素で効率的な行政運営	
	小項目 施策	12	その他事務管理(財産管理)	
事務事業名		08	三石財産区管理事業	このシート作成に要した時間 2.0 時間
問		担当課(室) 財政課		事業の意図する成果とつながる成果指標を設定
合先		職・氏名 係長 小橋智裕		
電話		0869-64-1811		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	三石財産区の保有財産及び区域内の住民	
目的(何のために)	三石財産区の保有財産の適正な管理・運用	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	三石財産区の良好な運営	

事業の実績		事業の説明	優先度
細事業名			
目的を達成するため実施した事業	管理会運営業務	三石財産区管理事業特別会計予算の適正な執行のため、管理会を3回開催し審議・決定した。	
	財産維持管理業務	三石財産区の保有土地の維持管理のため、草刈作業を実施しました。駐車場の利用者増加のため、看板の改修工事を実施しました。	
	財産区基金管理業務	基金預金利子及び償還金の積立等事務処理	

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額	事業費	千円	1,514	1,504	1,773
	必要人員	人	0.10人	0.03人	0.10人
	事業費	千円	2,358	1,785	2,671
財源	国	千円			
	県	千円			
	支出金	千円			
	受益者負担	千円			
繰入金	千円				
市	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	2,358	1,785	2,671	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
保有財産草刈延人数	説明	人	135	134	183
対前年比	%		-	99.3%	136.6%
活動コスト	円		2,358,000	1,785,000	2,671,000
単位当たりコスト	円		17,467	13,321	14,596

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
維持管理適正運営	成果指標名	目標値(A)	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値(B)	1,865	1,577	1,967	到達目標値
		達成率(B/A)	93.25%	78.85%	98.35%	2,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
財産区の財産維持管理は、歳入の範囲内での運営に努めるべきであるため。(歳入-歳出>2,000(単位千円))						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	財産区保有の山林貸付収入は、賃借人の事業休止により今後の増収が見込めないため、駐車場の整備や利便性の向上を図り、市のホームページや広報紙を活用し駐車場の利用者数増による増収を図る。

総合評価		総合評価
財産貸付収入の範囲内で、財産の管理・運営が図られているが、貸付収入が年々減少しているため、駐車場の利用状況を分かりやすくするため看板の設置を行い、これにより利用者の増加につながった。		B

平成25年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	
取組目標	さらなる整備や利便性の向上を図り、駅前駐車場の利用状況の向上に努め、財産貸付収入増と歳出削減の両面から適正な管理・運営に努めます。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する際の留意点